



横浜みどりアップ 葉っぱ

横浜みどりアップ計画

地域緑のまちづくり事業

STORY REPORT

※助成金を活用していない活動も含まれています

《野庭団地地区(港南区)》

- 団体名:のば 緑彩の会 ●計画名:野庭団地 みどり いきいき まちづくり
- 協定締結期間:令和4~6年度 ●助成額合計:8,680千円(3か年合計)



みどりがつなぐ、野庭の“いきいき散歩道”

■地区・団体の概要

野庭団地は港南区にあり、全体で約6,000戸を有する緑豊かな大規模団地です。敷地の外周には団地内を循環できる緑道があり、散歩やジョギングなどにも利用され、住民にとって身近な存在です。

野庭団地の連合自治会には9つの自治会が属しています。花を通じた地域づくりの活動は、これまで各自治会単位で実施していましたが、自治会の枠を超えた緑化活動により人的交流を増やし、野庭団地全体のコミュニティの活性化につながることを目的とし、花が好きで緑化活動をしていた住民を中心に「のば緑彩の会」を作りました。現在、会員は19名です。月例の水やりには、6、7人が集まって活動しています。

■取組の概要

住民が多く利用する団地内循環緑道にある5か所の交差部に、利用者が腰を下ろし、花を愛でながら休憩できるオアシスのような場所にするための花壇、「オアシス花壇」を整備しました。

さらに、緑道の側道部には歩きながら草花を楽しめる「道端花壇」と名付けた花壇を30か所に配置しました。

緑道脇にある法面にも年間を通じて色彩の変化が楽しめる立体花壇を作ったことで、全長約2kmの緑道を花と緑あふれる空間にしました。

■民有地緑化 歩くのが楽しくなる！野庭の“道端花壇”30か所完成

3か年で、30か所の道端花壇を整備しました。緑道は長いため、花壇が場所の目印になるよう各花壇に番号を付け、利用者が位置を把握しやすい工夫をしています。

1年目に設置した花壇は、枕木で枠を作っていましたが、花壇の規模に対して土の容量が少ないという課題がありました。そこで造園業者の方と相談し、枠材を薄い木材に変更することで土の量を確保し、より多くの草花を植えられるよう改善しました。

植栽内容はメンバーが考え、年2回の植え替えを行っています。一年草と多年草を組み合わせ、いつ訪れても季節の花が楽しめるよう工夫しています。また、日照条件に合わせて日陰花壇・日向花壇・山野草花壇を配置し、緑道全体に多様な表情が生まれるようにしました。さらに、立体花壇にはマロニエを植栽し、将来的に「マロニエ通り」と呼ばれる景観づくりを目指しています。

■地域緑化活動 園児と一緒に育てる“オアシス花壇”のチューリップ

近隣の幼稚園やこども園の園児と一緒に、オアシス花壇へチューリップの球根を植え付けました。子どもたちに花を育てる楽しさを知ってもらうとともに、緑化活動による地域交流とまちの活性化につなげました。

また、こうした活動や団体メンバーの活動を円滑に実施するため、「のば緑彩の会」の名入れビブスを着用し、団体活動のPRにも努めています。

道端花壇の水やりは課題のひとつですが、近隣の住民の方が自主的に協力してくださる場面もあり、地域の温かい支えを感じながら活動を続けています。

■3か年の取組を振り返って

住民以外の方から「緑道が綺麗になったから散歩コースにしました」と言っていただけてとても嬉しかったです。また、花壇の手入れをしていると「ありがとうございます」と声をかけていただけて、緑道を通して地域が一つになった感じがします。

緑道や緑陰、花壇があって、とても素敵になった野庭団地をもっとPRしてたくさんの人に知って欲しいと思いました。

自治会の枠を超えた活動の下地を作ったので、これからは花壇を活用した住民の交流を行っていきます。この3年間は花をつくる活動をしました。花を活かした活動はこれからだと思っています。



計画の実施箇所図



① 緑道の道端花壇



② 腰を下ろせるように作ったオアシス花壇



③ 園児とのチューリップ球根植え付け

— 活動中・活動後の様子 —



オアシス花壇の維持管理



季節の花を愛でるオアシス花壇



配置場所に合わせた日向花壇



野庭団地に植生する山野草花壇



緑豊かな団地内循環緑道